

ソーシャルワーク・コラボセミナー

in かごしま

貧困問題への地域福祉実践 ～地域固有の知の可視化、そして共有に向けて～

とき

2020 年
11. 8 (日)
13:00～16:30

参加費

無料

※オンライン開催
要事前申し込み

申込

日本ソーシャルワーク学会
ホームページからお申し込み
ください。

(<http://www.jsssw.org/news/post-810.html>)

締切

2020 年 11 月 1 日(日)まで

本年 7 月に開催された日本ソーシャルワーク学会第 37 回大会では、大会テーマを「ソーシャルワーク～地域・文化固有の知を基盤として～」として、鹿児島県の離島という地域固有の福祉実践の様々な活動、そしてそこから得られた知見を共有する機会を得ることができました。

今回のソーシャルワーク・コラボセミナーでは、上記大会との連動という意図のもと、貧困問題を抱える様々な背景を持つ人々に対して、地域を軸としてどのような福祉実践が必要とされているかについて共に考える機会としたいと思います。とりわけ地域で声を上げられない人々に寄り添った支援を展開するためには、貧困問題の支援に携わる公私の様々な担い手が、専門性の有無や違いに関わらずに連携・協働しながら、貧困問題を抱える人々を支える地域づくりを進めることが必要です。

本セミナーでは、離島を含む多様な地域特性を持つ鹿児島県における様々な取り組みとそこから見えてきた種々の課題等の分かち合いを通して、この問題に取り組むソーシャルワークの意義や期待される役割について改めて共に考えたいと思います。

Program

○基調講演

講師:永田 祐氏(同志社大学/教授)

演題:「包括的な支援体制の構築と越境する地域福祉実践」

○シンポジウム

テーマ:「貧困問題への地域福祉実践

～地域固有の知の可視化、そして共有に向けて～」

・発題 1:生活困窮者や貧困家庭の支援実践から

麓 由理子氏(与論町地域包括支援センター/保健師)

・発題 2:社会福祉協議会の実践から

柳田 道輝氏(さつま町社会福祉協議会/社会福祉士)

・発題 3:当事者による支援の実践から

鶴田 啓洋(一般社団法人 Saa・ya/精神保健福祉士)

○コメンテーター

永田 祐氏(同志社大学/教授)

○コーディネーター

大島 巖氏(日本社会事業大学)

浅野 貴博氏(ルーテル学院大学)

主催 日本ソーシャルワーク学会、(公社)鹿児島県社会福祉士会

後援(予定)

鹿児島県医療ソーシャルワーカー協会、(一社)鹿児島県精神保健福祉士協会、(公社)日本社会福祉士会、

(公社)日本精神保健福祉士協会、(公社)日本医療社会福祉協会、鹿児島県ソーシャルワーカー協会

日本社会福祉学会九州地域ブロック、日本ソーシャルワーカー協会、その他